

よくわかる力学の基礎 第2刷 正誤表

p.72 例題 6-3 問題文中 (6.24)式 → (6.25)式

解説&解答 6行目 (6.24)式 → (6.25)式

p.82 式(7.31)の上

「…、 y 軸方向の範囲 $y_A \cong x \cong y_B$ となるので」 → 「…、 y 軸方向の範囲 $y_A \cong y \cong y_B$ となるので」
(x を y に修正)

p.83 1行目 一番初めの $F_x(x+dx, y) \rightarrow F_y(x+dx, y)$ (下付き文字が x ではなく y)

p.114 式(9.28) 3行目の式 $m_3 \frac{dv_2}{dt} = \dots$ の v の添え字を 3 に → $m_3 \frac{dv_3}{dt} = \dots$

p.115 式 10.1 の 2~3 行上、 $v_A \rightarrow v(t_A)$, $v_B \rightarrow v(t_B)$ に修正、

図 10.2 の v_A , v_B も同様に修正 (v はボールド)。

p.116 式(10.6) $p(t)$ の A、B の文字が逆

$$p(t_A) - p(t_B) = \int_{t_A}^{t_B} F dt \rightarrow p(t_B) - p(t_A) = \int_{t_A}^{t_B} F dt$$

p.116 図 10.3 の v_1, v_2 の v はボールドに。

$f_{2 \rightarrow 1}$ は $f_{1 \rightarrow 2} \rightarrow f_{1 \rightarrow 2}$ は $f_{2 \rightarrow 1}$ に修正

p.133 例題 12-2 3行目 糸と棒の間の角度 → 糸と壁の間の角度

p.135 1行目 ($p_{ix}, p_{iy}, 0$) の p は細字 ($p_{ix}, p_{iy}, 0$) に。

p.135 2行目~3行目の文章

「また、 Q の角運動量 l_j は、位置 r_j , 運動量 p_j を用いて、」

(上記の記号挿入、「 j 番目の微小部分 P の角運動量は、」を削除)

p.135, 13.4 式の初めの $l_j \rightarrow l_{jz}$ (z の下付文字追加)

p.139, § 13.3 の一行上 相当単位振り子長さ → 相当単振り子長さ

p.143 表右側 回転の運動方程式の下の式 $m \rightarrow I$

p.147, § 14.2.2 タイトル 直行軸 → 直交軸

p.151, 式 (15.7) 初めの式 $X = -R\theta \rightarrow X = -R\varphi$

p.158, 演習問題 11 「図のように、質量 M , 半径 R の金属球を…」 「質量 M ,」を追加。

p.168, 第1部演習問題 15 解答 G の前にマイナスをつける (5箇所)

p.171, 演習問題 20

図の $\phi \rightarrow \varphi$

$$\textcircled{2} \text{式 } m \frac{dv}{dt} = -mg \sin \phi \rightarrow m \frac{dv}{dt} = mg \sin \phi \quad (mg \text{ の前の負号をとる})$$